

平成 27 年 1 月 16 日（金）に気象庁、（一財）日本気象協会と当センターの共催により気候講演会を開催します。

今回は、「地球温暖化と雨」をテーマとして、地球温暖化による影響の中でも「雨」に焦点をあて、気候変動予測技術や将来の降水の変化に伴う水害の予測技術、地球温暖化に伴うリスクについての最新の知見をお伝えします。

1. 期日 : 平成 27 年 1 月 16 日 (金) 15 時 00 分～17 時 30 分 (開場 : 14 時 30 分)
  2. 場所 : 気象庁 2 階 講堂 (東京都千代田区大手町 1-3-4)
  3. 主催 : 気象庁、(一財) 日本気象協会、(一財) 気象業務支援センター
  4. 内容 : 「地球温暖化と雨」
    - ・『将来の雨の予測 ～より精度の高い予測への取り組み～』  
　　気象研究所 環境・応用気象研究部 第二研究室室長 高藪 出
    - ・『地球温暖化による降水の変化に伴う洪水・浸水・氾濫の予測技術』  
　　京都大学大学院 工学研究科 教授 立川 康人
    - ・『地球温暖化リスクに関する最新の科学的知見—IPCC 第 5 次評価報告書をふまえて—』  
　　国立環境研究所 社会環境システム研究センター
  5. その他 : 定員 : 200 名 (事前申し込み制・先着順) 入場料 : 無料

参加を希望される方は、メールまたはFAXによる事前申し込みが必要です。

申込み方法等詳細は、次のアドレスをご覧ください。

[http://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/climate\\_lecture/index.html](http://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/climate_lecture/index.html)